



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

子育て支援の
充実について質問方式
一問一答

Q 平成27年4月から公立や民間の保育園、認可保育園の保育所等に入所を希望した0、1、2歳児について、様々な調整をしたが全て満杯となり、どこへも入れなかったこどもが108名いる状況である。

市の保育所整備運営計画では公立に入るこども達の数も290名縮小させる計画になっているが、この計画はどのようなかと思うが、市の考えは。

A こども福祉部長

申し込みに際しては、第1、2、3希望までお聞きし、利用調整しています。昔の保育の需要は今ほど、0、1、2歳児が多くはなく、定員が推移してきている状況です。保育所整備計画は、現在見直しをしており、今後は現代に合った形での定員となるよう検討していきたいと思っています。

その他の質問

☆経済的理由による
教育格差を軽減す
るために



飯田 昌弘 議員(大樹会)

教育行政について

質問方式
一問一答

Q 学力アッププロジェクト等により、県平均値を上回る学科、科目も出てきたが、全国的にみるとまだ努力できる可能性を残している。学力アップは市全体で取り組む重要な課題の一つと考えるが、これまでの取り組みの検証と今後の対応は。

A 教育長

各学校の先生方の非常に熱心な取り組みにより、平成27年度は市全体の傾向として、全国との差がゼロポイント台となり、全国と肩を並べたと言えるまで改善しました。今後はさらに全国を上回るよう、高いところを目指して努力していきます。

また、教育委員会、学校、家庭、地域の連携を強化していくことが重要であると考えますので、教育環境の充実と学力、体力向上のさらなる飛躍を目指して、地道な取り組みを継続していきたいと考えています。

その他の質問

☆安心・安全のまちづくりについて



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

公共施設の再編について

質問方式
一問一答

Q 葛生地区公民館をあくとプラザに移転する計画があるのか。また、公民館となると文化施設から生涯学習施設への転用になるが、このメリットやデメリットをどう考えるか。

A 行政経営部長

移転については、葛生行政センター建設に関する地元説明会で計画の二案として説明をしました。転用については、文化施設として稼働率や利用状況が低いため改善することが課題であり、一つの考え方です。転用のメリットは施設の有効活用が図れ、利用状況の改善が見込めます。また、葛生あくと福祉センターの一部を使用することで公民館機能として対応が可能です。デメリットは、公民館は営利目的の事業が禁止であり、入場料を徴収する事業の制限があります。今後十分検討していきたいと思っています。

その他の質問

☆まち・ひと・しごと
創生総合戦略につ
いて



▲ 葛生地区公民館